



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 有機合成薬品工業株式会社

コード番号 4531 URL <http://www.yuki-gosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田 紘行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門統括 (氏名) 山戸 康彦

TEL 03-3664-3980

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,722	△17.7	277	98.0	237	136.4	△96	—
23年3月期第2四半期	4,525	5.6	140	—	100	—	68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.42	—
23年3月期第2四半期	3.12	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,010	8,730	54.5
23年3月期	15,796	8,779	55.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,730百万円 23年3月期 8,779百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当予想額につきましては、未定であります。

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△11.0	520	69.1	450	73.8	10	—	0.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	21,974,000 株	23年3月期	21,974,000 株
24年3月期2Q	130,660 株	23年3月期	129,460 株
24年3月期2Q	21,843,810 株	23年3月期2Q	21,845,261 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項.....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
3. 四半期財務諸表.....	5
(1) 四半期貸借対照表.....	5
(2) 四半期損益計算書.....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9
4. 補足情報.....	10
取締役の担当変更.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故により急速に悪化した生産活動がやや持ち直しはしたものの、欧州の財政問題や米国の経済不安などの影響もあり、依然海外の景気回復速度は鈍化したままです。これに更なる円高の進行が加わり経済環境はますます厳しくなっていることから、先行き不透明な状況が続くものと予想しております。

化学工業におきましても、復興需要に支えられ震災直後の生産活動の落ち込みから脱しはしましたが、海外景気の鈍化、原油価格や為替相場の高値定着化、原発事故による放射能の風評被害などの要因も加わり、非常に厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社は放射能汚染問題による取引先の不安を払拭するため、国内外の第三者機関による検査を実施し、製品の安全性を証明するなど、全社を挙げた取り組みを行ってまいりましたが、震災により約2ヶ月間生産活動ができなかったことなどが影響し、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期比17.7%減の3,722百万円となりました。営業利益および経常利益につきましては、業務の選択と集中を行い、徹底した経費節減を実施した結果、営業利益は前年同期比98.0%増の277百万円、経常利益は136.4%増の237百万円となりました。しかしながら、東日本大震災による災害損失416百万円を計上したことにより、四半期純損失は96百万円（前年同期は68百万円の四半期純利益）となりました。

製品区分ごとの販売の状況は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成23年3月期第2四半期累計期間				平成24年3月期第2四半期累計期間			
	国内	輸出	合計	構成比(%)	国内	輸出	合計	構成比(%)
アミノ酸関係	972	1,018	1,990	44.0	578	769	1,348	36.2
化成品関係	1,369	301	1,671	36.9	1,037	296	1,333	35.8
医薬品関係	692	171	864	19.1	864	176	1,041	28.0
合計	3,034	1,490	4,525	100.0	2,480	1,242	3,722	100.0
構成比(%)	67.1	32.9	100.0		66.6	33.4	100.0	

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当第2四半期累計期間における製品の受注・出荷につきましては、東日本大震災による当社常磐工場の操業停止の影響を受け、アミノ酸関係および化成品関係の販売実績が前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

## 【アミノ酸関係】

主力製品であるアミノ酸の国内および輸出版売の減少ならびにビタミン原料の国内販売減により、国内および輸出版売とも前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

## 【化成品関係】

国内販売において、船底塗料用原料は増加いたしました。また、タイヤコード接着剤用原料、特殊触媒および農薬用原料の販売などが減少した結果、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

【医薬品関係】

既存医薬品および新規医薬品ともに販売が増加したことにより、前年同期に比べ売上高は大幅に増加いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における各貸借対照表項目の増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は、前事業年度末から27百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少と製品の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末の固定資産は、前事業年度末から186百万円増加いたしました。これは主に、機械及び装置の増加によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は、前事業年度末から338百万円減少いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加と、1年内返済予定の長期借入金の返済及び長期借入金の借換えに伴い1年内返済予定の長期借入金を計上しなおしたことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末の固定負債は、前事業年度末から601百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の借換えに伴い計上しなおしたことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産額合計は、前事業年度末から48百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加と、四半期純損失計上によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は912百万円となり前事業年度末に比べ92百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は442百万円(前年同期は1,088百万円の増加)となりました。これは主に、減価償却費406百万円、売上債権の減少407百万円と仕入債務の増加278百万円等による資金の増加と、税引前四半期純損失189百万円とたな卸資産の増加425百万円等による資金の減少との差額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は230百万円(前年同期は225百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出221百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は297百万円(前年同期は396百万円の減少)となりました。これは

主に、長期借入金の純減額218百万円と社債の償還78百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、欧州の財政問題や米国の経済不安などに伴う景気回復の鈍化、原油価格や為替相場の高値定着化、放射能汚染問題など不透明な要因がさらに継続すると予想され、引き続き企業を取り巻く環境は先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような情勢の中、当社は業務の選択と集中を進め、全力を挙げて利益確保を図るとともに、将来に向けての持続的な成長を支える強固な経営基盤の確立を目指してまいります。

現時点における当社の平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年7月29日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(累計期間)に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,224,276	1,132,123
受取手形及び売掛金	2,745,786	2,338,269
製品	1,574,485	2,056,610
仕掛品	487,615	449,414
原材料	736,203	715,304
その他	165,488	269,284
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	6,933,554	6,960,705
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,608,619	1,605,211
機械及び装置(純額)	1,453,078	1,645,989
土地	3,151,011	3,151,011
その他(純額)	650,575	589,712
有形固定資産合計	6,863,284	6,991,923
無形固定資産	115,473	103,412
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,842	1,488,165
その他	485,329	466,359
投資その他の資産合計	1,884,171	1,954,524
固定資産合計	8,862,930	9,049,861
資産合計	15,796,484	16,010,567
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,190,950	1,583,946
短期借入金	1,240,000	1,240,000
1年内返済予定の長期借入金	1,236,000	336,000
未払法人税等	16,976	15,994
賞与引当金	119,143	79,818
災害損失引当金	51,665	—
その他	598,213	858,685
流動負債合計	4,452,948	4,114,444
固定負債		
社債	485,500	407,000
長期借入金	324,000	1,006,000
再評価に係る繰延税金負債	797,433	797,433
退職給付引当金	872,473	889,021
役員退職慰労引当金	70,700	46,900
資産除去債務	14,330	14,157
その他	—	5,143
固定負債合計	2,564,436	3,165,655
負債合計	7,017,385	7,280,100

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,471,000	3,471,000
資本剰余金	3,250,140	3,250,140
利益剰余金	2,195,222	2,098,768
自己株式	△42,622	△42,858
株主資本合計	8,873,740	8,777,051
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,419	69,620
繰延ヘッジ損益	—	△5,143
土地再評価差額金	△111,061	△111,061
評価・換算差額等合計	△94,641	△46,584
純資産合計	8,779,098	8,730,466
負債純資産合計	15,796,484	16,010,567



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	4,525,458	3,722,885
売上原価	3,451,880	2,798,882
売上総利益	1,073,577	924,003
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	198,354	187,802
役員退職慰労引当金繰入額	1,900	1,800
賞与引当金繰入額	19,676	23,075
退職給付費用	16,370	15,484
研究開発費	230,810	43,539
その他	466,210	374,591
販売費及び一般管理費合計	933,321	646,293
営業利益	140,256	277,709
営業外収益		
受取利息	565	502
受取配当金	24,952	16,365
助成金収入	—	10,019
雑収入	18,856	8,976
営業外収益合計	44,374	35,863
営業外費用		
支払利息	26,641	22,125
社債利息	5,653	4,506
アレンジメントフィー	34,000	39,000
雑損失	18,038	10,886
営業外費用合計	84,333	76,517
経常利益	100,297	237,055
特別利益		
固定資産売却益	137	—
投資有価証券売却益	40,814	—
特別利益合計	40,952	—
特別損失		
固定資産除却損	15,008	10,637
投資有価証券売却損	1,596	—
災害による損失	—	416,103
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,582	—
特別損失合計	27,187	426,740
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	114,062	△189,685
法人税等	46,000	△93,230
四半期純利益又は四半期純損失(△)	68,062	△96,454

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	114,062	△189,685
減価償却費	403,933	406,346
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,582	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,575	△39,325
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△51,665
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△26,471	17,060
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△14,600	△23,800
固定資産除却損	15,008	10,637
投資有価証券売却損益 (△は益)	△39,218	—
受取利息及び受取配当金	△25,518	△16,867
雑収入	△18,856	△18,995
支払利息	32,294	26,631
雑損失	52,038	49,886
売上債権の増減額 (△は増加)	742,591	407,093
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,241	△425,111
仕入債務の増減額 (△は減少)	△82,642	278,036
未払又は未収消費税等の増減額	△3,516	△48,698
その他	△440	100,628
小計	1,142,432	482,171
利息及び配当金の受取額	25,580	16,867
利息の支払額	△39,375	△26,751
その他	△22,843	△23,026
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△17,211	△7,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,088,582	442,049
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△224,692	△221,857
有形固定資産の売却による収入	200	—
有形固定資産の除却による支出	△2,469	△6,744
投資有価証券の売却による収入	55,667	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△54,080	△1,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,375	△230,097
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△155,000	—
長期借入れによる収入	1,000,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,118,000	△1,418,000
社債の償還による支出	△78,500	△78,500
自己株式の取得による支出	△672	△235
配当金の支払額	△43,914	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,086	△297,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,992	△6,781
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	458,127	△92,152
現金及び現金同等物の期首残高	113,650	1,004,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	571,777	912,123

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

当社はファインケミカル事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

取締役の担当変更

氏名	新役名及び職名	旧役名及び職名	異動年月日
坂上 祐一	取締役 (営業部門統括)	取締役 (営業部門統括兼アミノ酸本部長)	平成23年10月1日